

JAISE: Japan Association for International Student Education

留学生教育学会

Newsletter 第47号 2015年12月

事務局: 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-58-1 石山ビル 6階

公益社団法人東京都専修学校各種学校協会内

TEL: 03-3378-9601 FAX: 03-3378-9625 e-mail: office@jaise.org

[ホームページ <http://www.jaise.org>]

I. 2015年度の活動報告

会長 野水 勉 (名古屋大学)

本年8月、当留学生教育学会が創設されて20周年を迎え、記念すべき第20回研究大会(年会)を東京新宿の日本電子専門学校にて開催することができました。この数年、研究大会は100名を越える参加者数を維持してきておりましたが、実行委員長の学会副会長・日本電子専門学校松澤保先生をはじめ同専門学校寺脇保先生、海野晴博先生、そして学会理事・横浜国立大学鈴木雅久先生ら関係者の獅子奮迅のご活躍により、今回一挙に倍近い参加者数となる197名にのぼる盛大な大会となりました。予想を越えた準備対応のため、関係者のご尽力に改めて深く感謝申し上げます。

一日目は、「留学生にとって魅力ある日本でのグローバルキャリアとは？」というテーマについて基調講演、パネルディスカッションを行い、様々な方面の関係者から貴重なお話をうかがうことができました。基調講演では、まず文部科学省高等教育局学生・留学生課の成相圭二課長補佐から、外国人留学生の就職について企業が求める人材像や国による就職支援をお話いただきました。次に第3代目会長(前会長)の廣瀬幸夫東京工業大学特任教授から、学会の20年を振り返り、学会の変遷をご紹介いただくとともに、今後の展望として高等教育機関の国際化推進、留学生の受入・派遣を留学生教育学会が核となり、オールジャパンとして取り組む重要性をとくに強調していただきました。

続くパネルディスカッションでは、台湾から招聘された元留学生の施文祥様(台湾CGCG社社長)から、日本電子専門学校での先端的なコンピュータ・グラフィック(CG)技術を学び、時代を先取りしたCG会社を起し、ハリウッド映画とくにスター・ウォーズのCGの一部も担っているとのことで、日本留学が大きなキャリアステップになった経験をお話いただきました。次に日本電子専門学校寺脇保常務理事から当学会日本語教育機関・専門学校連絡会を中心に現在進めている留学生の満足度調査の中間報告を報告いただき、留学生にとって学歴よりも日本就職が重要であり、就職に直結する専門学校へのニーズが高まっている様子を紹介していただきました。さらにマッケン・キャリアコンサルタント株式会社竹内上人代表取締役には、セイコー・エプソンでの人事部経験からグローバルなオペレーションを担う人材不足と留学生への期待、データ&ストーリー代表柏木吉基様には、日産自動車での経験からグローバル企業におけるコミュニケーションは原則英語で日本語の可否は対象外であること、国籍・バックグラウンドなど多様性の中で意志決定が行われる実態そして留学生が日本留学の強みを大いに発揮できることをご紹介いただきました。

2日目には、一般研究発表と日本語教育機関・専門学校ワークショップが行われましたが、本Newsletterの松澤副会長の報告をご参照下さい。例年、2日目は半日で終わっておりましたが、発表持ち時間の拡大(20→30分)、発表件数の増加により、丸1日に拡大しております。松澤副会長並びに関係の方々、日本語教育機関・専門学校等連絡会を本年2月に立ち上げていただき、第1回(2/2)、第2回(6/26)と連絡会の会合を受け、研究大会の日本語教育機関・専門学校ワークショップにつないでいただきましたので、本研究大会は日本語教育機関・専門学校からの参加者が大幅に増加しました。懇親会とアトラクションも含め、会場となった日本電子専門学校様並びに関係者の方々に深く御礼申し上げます。

本ニュースレターと共に同封されている今年の学会誌『留学生教育』も、様々な分野の投稿をいただき、充実した内容の論文誌となっているかと思っておりますので、是非お目通し下さい。編集委員会の要望から、投稿締切期限を従来の6月末から4月末に2カ月繰上げをご連絡したものの、過渡期としてご配慮いただき、期限を越えたものも受け付けていただきました。来年は、4月末日を厳守する予定ですので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

尚、研究大会中の学会総会で、会費の値上げを提案し、承認されました。この4年間で会員数が1.5倍に伸びており、事務局機能の強化の必要性が増しており、誠に恐れ入りますが2016年度からの会費の値上げをお願いする次第です。また、名誉会員の規定を加えました。申請方法については本年度以内に追ってご連絡させていただきます。

学会会員の皆様のために、有意義な学会活動がますます発展していくよう微力を尽くして参りますので、引き続きご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

(1) 日本語教育機関・専門学校等連絡会

本連絡会は、日本語教育機関と職業教育を担う専門学校で多くの留学生を抱える関係者が課題をより積極的に情報交換・共有することを目的に2015年2月に発足し、6月26日(金)に第2回会合を開催しました。第20回研究大会では日本語教育機関・専門学校における諸問題を6つのテーマによるワークショップを設定し情報交換をしました。なお、各ワークショップの報告を添付いたしましたのでご参照ください。

留学生担当教職員分科会 stsupport-staff@jaise.org
短期留学プログラム分科会 tanpro-staff@jaise.org
日本語教育機関・専門学校等連絡会(分科会)
schools-staff@jaise.org

(2) 研究大会開催について

第20回研究大会は2015年8月28日(金)・29日(土)の2日間、日本電子専門学校(実行委員長:松澤保先生)にて開催しました。28日(金)は講演ならびにパネルディスカッションで実施され、29日(土)は留学生に関する諸問題を題材とした32件の一般発表に加え、日本語教育機関・専門学校によるテーマ別のワークショップを行いました(詳細後述)。

(5) JAISE メーリングリストご活用案内

留学生教育学会のメーリングリスト(JAISE ML)はWeb上で利用いただくシステムとなっております。

はじめに、会員個別のIDとパスワードでログインしてからのご利用となります。

http://www.jaise.org/jaiseml/ml_post.cgi

IDとパスワードは入会時にご連絡しております。不明な場合は事務局(office@jaise.org)までお問い合わせください。

(3) 学会誌『留学生教育』について

編集委員会(編集委員長 松見法男先生)のもと、査読委員を充実させ、より質の高い学会誌を目指しました。今回不採択になった原稿も次回是非再挑戦して頂きたいと思っております。

なお本年度より投稿論文締切日の変更となっております(詳細後述)。

(4) メールアドレス変更のご案内

当学会では目的に応じたメールアドレスを設定しています。旧アドレス(jaise@tsk.or.jp)からの設定変更をお願いいたします。

II. JAISE 総会のご報告

8月28日(金)に留学生教育学会総会を開催し、以下の審議事項について承認されました。会費の改定等変更点もございますので総会資料を同封しております。ご確認くださいませようをお願いいたします。

1. 2014年度事業報告
2. 2014年度収支報告
3. 2015年度事業計画
4. 2015年度収支計画
5. 役員人事について(2015・2016年度)
6. 会費の改定について
7. 名誉会員の設定について
8. 会則の改定について
9. 会員種別と特典について
10. 名誉会員の認定と名誉会長称号の授与について

入会申込み、その他お問合せ office@jaise.org

III. 第20回留学生教育学会研究大会総括

実行委員長 松澤 保 (日本電子専門学校)

第20回 JAISE (留学生教育学会) 研究大会を8月28日(金)・29日(土)の2日間にわたり、東京・新宿の日本電子専門学校で国公立大学、専門学校、日本語学校等、留学生教育に携わる教育機関や企業の関係者等計192名の参加を得て実施しました。

「留学生にとって魅力ある日本でのグローバルキャリアとは？」をテーマに28日(金)は文部科学省高等教育局学生・留学生課の成相圭二様、元留学生の施文祥様(台湾 CGCG 社 社長)と、第20回記念大会ということもあり「留学生教育学会の歩み」と題して第3代目会長の廣瀬幸夫東京工業大学特任教授より記念講演をいただきました。さらに現在日本語教育機関・専門学校等連絡会で取り組んでいる「日本留学満足度アンケート」の調査に関して機関会員の日本電子専門学校寺脇保常務理事より経過報告がありました。

パネルディスカッションでは上の4名に加えマッケン・キャリアコンサルタント株式会社竹内上人様、データ&ストーリー代表柏木吉基様にも参加いただき留学生のキャリア形成に関してそれぞれのお立場で報告・提言がありました。

29日(土)は32件の一般研究発表に加え、学会初の試みとして日本語教育機関・専門学校における諸問題を6つのテーマによるワークショップを設けました。

ワークショップテーマは以下のとおり

1. 専門学校留学生のキャリアサポート
2. 留学生教育における授業改善モデル
3. 企業に求められる外国人留学生とその能力評価の必要性
4. デュアルシステムの運用事例と評価基準としての社会人基礎力の活用
5. 大学進学における日本語学校の役割
6. 非漢字圏学生の入口から出口まで

一般研究発表は1件あたり口頭発表と質疑応答の時間含めて3会場、30分の時間を取り、各会場で積極的な質疑応答、議論が繰り広げられました。本年は日本語教育機関・専門学校等連絡会が本格的に活動を開始し、ワークショップで魅力的なテーマが揃ったこともありそれまで以上に日本語教育機関、専門学校の参加が目立ちました。

研究大会が盛会に終わりましたことを参加者の皆様にご報告するとともに感謝申し上げます。

IV. 奨励賞・功労賞・優秀論文選考報告

この賞は、前会長の都河明子氏が本学会の発展のため、また会員増のために、ご自身で100万円を寄付し、2005年に設立したものです。

2015年度奨励賞・功労賞・優秀論文賞の選考結果は次の通りです。

■奨励賞受賞者

渡部 留美 氏 (名古屋大学)

■功労賞受賞者

受賞者なし

■優秀論文賞受賞者

中井 陽子 氏 (東京外国語大学)

鈴木 孝恵 氏 (東京外国語大学)

「レポート作成と口頭発表のためのメタ認知能力の育成—学習者の自己分析・他者分析・教師のフィードバックの関係から—」

V. 投稿論文締切日にご注意ください

学会誌『留学生教育』の投稿論文締切日は4月30日です。

『留学生教育』第21号(2016年12月発刊予定)投稿論文の締切日は、4月30日です。これは、審査過程に時間的な余裕をもたせ、投稿者による論文改稿がより充実したものとなるようにするためです。なお、論文を投稿される場合は、必ず本学会ホームページにて、最新の投稿規定・執筆要領をご確認ください。必要な書式をダウンロードして執筆・投稿いただきますよう、お願いいたします。

皆さまのご投稿を心よりお待ちしております。

『留学生教育』編集委員会

VI. 第21回留学生教育学会研究大会

次回開催の日程と場所をお知らせいたします。また、申込等につきましては別途ご案内いたします。

■日程 2016年8月26日(金)、27日(土)

■場所 大阪府内

VII. 事務局便り

1. 名誉会員の推薦方法と手続きについて

8月28日(金)の総会で承認された名誉会員につきましては所定の申請書を提出いただき、理事会の承認後総会にて承認を受け認定されます。手続きの詳細については別途メーリングリストで告知いたしますのでご確認をお願いいたします。

2. 年会費納入のお願い

今年度年会費につきまして、11月末日時点で入金を確認できない方に請求書を同封しておりますので1月末までに指定口座までお振込みくださいますようお願いいたします。

請求書が同封されている方で、大学名等によりすでにご入金いただいている場合は申し訳ございませんがお手数でも事務局 (office@jaise.org) までご一報くださいますようお願いいたします。

なお、会則により2年間未納の場合は翌年度自動退会となりますのでご注意ください。

3. 会員数

2015年12月1日現在 429人【一般307、学生76、海外23、賛助・機関23】

4. 新入会員のお知らせ [2015年7月～入会順] (敬称略)

○一般会員		○機関会員	
山中 都	早稲田大学	聖心女子大学	
松下 奈美子	名古屋産業大学	日本電子専門学校	
太田 絵里	東京工業大学	株式会社JTBコーポレートセールス	
阿部 淳二	岡山県立大学	国際基督教大学	
柏崎 秀子	実践女子大学	○学生会員	
管長 理恵	東京外国語大学	岡崎 渉	広島大学大学院
藤原 由衣子	長崎短期大学	森重 里保	広島大学
根本 愛子	国際基督教大学	ZHU YICHEN	広島大学
佐藤 裕幸	大阪YMCA国際専門学校	山上 太郎	大阪市立大学大学院
新井 和範	株式会社リードガイダンス	徐 齡	広島大学
キューン ミッシェル	名古屋大学	井上 万葉子	横浜国立大学
松尾 憲暁	名古屋大学	高橋 伸浩	神戸大学大学院
垣内 哲	和陽日本語学院	○海外会員	
安井 友美	友ランゲージアカデミー	西尾 建	University of Waikato
桑田 優	行政書士桑田優事務所	穆紅	中国大連理工大学
稲森 岳央	岡山大学	永川 元	クアラルンプール大学
楠元 景子	名古屋大学		
新居 純子	東京外国語大学		